

平成28年度 秋田県雄勝地域保健医療福祉協議会 議事録

日時 平成29年3月1日(水) 午後2時20分～3時30分

場所 雄勝地域振興局大会議室

出席委員

秋田県薬剤師会湯沢雄勝支部幹事長	泉 谷 興
湯沢雄勝食品衛生協会会長	小 原 新 治
湯沢雄勝地区衛生組織連絡協議会長	門 脇 忠 治
湯沢市雄勝郡社会福祉入所施設協議会長	齊 藤 隆
○湯沢市雄勝郡医師会長	佐 藤 政 弘
湯沢市雄勝郡歯科医師会長	柴 田 貞 彦
湯沢市社会福祉協議会長	菅 義 雄
南教育事務所雄勝出張所長	武 石 睦
雄勝中央病院長	中 村 正 明
湯沢地区結核予防婦人会連合会長	中 山 孝 子
秋田県看護協会湯沢雄勝地区支部長	畑 山 奈保子

欠席委員

湯沢雄勝地区食生活改善推進協議会長	榎 本 鈴 子
◎湯沢市長	齊 藤 光 喜
県南地区介護支援専門員協会副会長	佐々木 尚 敏
湯沢市福祉保健部長兼福祉事務所長	佐 藤 茂 樹
湯沢商工会議所常議員	前 田 貞 一

(◎は会長、○は副会長)

その他出席者

事務局職員

- ・秋田県雄勝地域振興局福祉環境部長
兼湯沢保健所長
- ・その他福祉環境部職員7名

小 裕 真 吾

開 会 (午後2時20分)

開会宣言、欠席委員の報告(事務局)

小松福祉環境部長あいさつ

議長の選出について（事務局）

保健医療福祉協議会条例第4条第4項の規定により、会長の齊藤委員が欠席しているため、副会長の佐藤委員が議長に選出された。

佐藤委員

それでは規定によりまして、私が議長を務めさせていただきます。

さて、本日の議事は報告1件、協議事項が2件でその内容は次第4、5にあるとおり、

各専門部会の協議結果の報告、協議事項は「平成28年度主要事業実施状況について」、「平成29年度雄勝地域振興局施策推進方針及び福祉環境部関連事業」についての2件でございます。

事務局には要点を絞った説明をお願いします。また、委員の皆様には積極的にご発言いただきますようお願いいたします。

それでは、議事に入りたいと思います。

協議会の成立宣言

委員16名中11名の過半数が出席していることから、条例第5条第3項の規定により、会が成立していることが宣言された。

報 告

平成28年度地域医療推進部会、救急・災害医療検討部会及び 献血推進部会での協議結果

地域医療推進部会について佐藤委員、救急・災害医療検討部会及び献血推進部会について中村委員が協議結果を報告した。

質疑はなかった。

協 議

（1）平成28年度主要事業実施状況について

各課の事業実施状況について、各課長から事前配布資料に基づき説明した。
説明後、一括して質疑応答。

佐藤委員

油漏れ事故は配管が錆びて穴が空いたりして起こるものか。

事務局

そのようにして起こるものもある。また、事業所でも起こっている。

事務局

最近の事例では、入院して空き家になっている家屋の配管が腐食して発生したことがあった。去年も昨年度も起こっており、今後も起こる可能性がある。また、除雪車が作業中に管を壊してしまうケースもある。

佐藤委員

復旧費用は誰が負担するのか。支払い能力が無い場合はどうなるのか。

事務局

オイルマットを敷く等費用が発生した場合は原因者負担となる。請求は原因者あてに行うが、費用の回収までは当部では関知していない。

佐藤委員

水道関係の業務については県だけではなく市町村にもあるが、そのすみ分けはどうなっているのか。

事務局

市町村もしくは地域団体の水道の許認可を当部が行っており、それに関連した立入検査も実施している。ただし、湯沢市の上水道の許認可については県主管課が行う。

佐藤委員

簡易水道の整備支援とあるが、例えば湯沢市の簡易水道には関係していないのか。

事務局

国の補助事業について件数を資料に記載しているが、当部ではなく主管課の業務となっている。

泉谷委員

狂犬病予防対策について、登録頭数1890頭で予防注射の接種が1647頭とある。自宅でも犬を飼っており、毎年番号が付されたハガキが届いているが、市では未接種の犬を把握しているのか。また、その者に対して翌年のハガキに注意指導等が書かれているのか。

事務局

勧告書のような書類を送付している市町村もあるが、湯沢市の場合は90%以上と接種率が高い。春に案内ハガキを送っているが、都合により実施できなかった犬の飼い主あてに秋に再度ハガキを送っている。獣医師会とも協議し日曜日でも接種できる体制となったため、接種機会は広まっている。

佐藤委員

犬のしつけ方教室の講師は県の職員なのか。

事務局

動物管理センターの職員が東京で講習を受け、学んできたことを講師として伝えている。

(2) 平成29年度雄勝地域振興局施策推進方針、及び福祉環境部関連事業について

事務局から事前配布資料に基づき説明した。

説明後、一括して質疑応答。

武石委員

入浴事故防止ネットワーク事業について、平成28年の事故の発生状況はまとまっているのか。

事務局

平成28年は55件の事故が発生しており、うち14人が亡くなっている。参考までに27年は48件の事故でうち18人が亡くなっている。男女別では28年が男性30人女性25人、27年が男性35人女性13人である。

武石委員

毎年啓蒙活動を進めている中で一定数の高齢者の方が亡くなっている。若い人がある家庭は高齢者への事故防止の配慮ができると思うが、亡くなった方の家庭環境等を分析して普及しているものなのか。

事務局

必ずしも一人暮らしの高齢者が亡くなっているということではない。家族が発見するケースも多く、一概に若い人がいない家庭の事故が多いとは言えない。また、年末に気温が高めの年があったが、そのような時期は事故が少なくなる傾向がある。

武石委員

ネットワークの啓発事業として会議や印刷物配布、広報等を行っているが、福祉環境部として個別訪問指導とは言わないが、もう一步啓発活動を深めることでいくらかかでも事故を減らすことができるのではないかと。

事務局

個別訪問は難しいが、出前講座等を通して出来るだけネットワークの活動を地域に広く知ってもらえるような啓発を進めて行きたい。

佐藤委員

これについては消防本部が熱心に取り組んでおり、当医院の待合室にもポスターを貼っている。交通事故死の3倍も多く発生しているとのことだった。事故はやはり寒暖差の多い冬場に増えるのか。

事務局

10月頃から増え始める。生活習慣もあるが、寒い脱衣場で服を脱いで熱めの風呂に入る高齢者も多い。

佐藤委員

救急隊は熱中症だと考えているようだ。

中村委員

我々は、「環境が悪いために血圧の変動があつて倒れた」と言っているが、多くの学者は脱水が原因だと言っている。個人的な意見としては、浴室環境を変えるのは容易ではないので、飲酒してから入らない等自身の体調で判断すれば良いと思う。

佐藤委員

環境に身体が対応できない高齢者が事故に遭いやすく、若い人には関連が薄いと感じる。

柴田委員

地域口腔ケア研修会の参加者は前年度と同じ人か。あるいは初めての人なのか。

事務局

健康づくり活動実践者の中から市町村担当者とも相談のうえ参加者を選定している。平成27年度から始まった事業であるが、その時は市町村の健康づくり推進員、食生活改善推進員等からの手挙げ方式で参加を募った。自分自身のために役立てていただくだけでなく、この受講者が中心となり地域住民へ啓発していただきたいというもうひとつ大きな目的があり、前年の経験を踏まえて今年度は対象をしばった。この2年間は地域住民への普及を中心に進めてきたが、来年度以降は職域にも啓発していただきたいと考えており、その足がかりとして29年度は職域の方を対象とした研修会も実施する予定である。

柴田委員

昨年度と今年度の2回参加された方はあまりいないということか。

事務局

多少はいるが、8割から9割位が新規の方であった。

柴田委員

今年度の方が住民への啓蒙は良かったと思うが、研修に複数回参加した人が影響しているのか。

事務局

ほとんどは新規の人達が尽力してくれたものである。

柴田委員

今後は職域を始め新たな方を対象に進めていくということか。

事務局

そのように考えている。

柴田委員

ひとつの方法であるが、一度聞けば良いというものではなく複数回継続して受講することで理解が深まると思うし、複数回参加した方を対象としたアドバンス的な教室等があっても良いと思う。

事務局

受講済みの方の参加を拒む趣旨ではなく、今後も市町村とも相談しながら事業を進めて参りたい。

柴田委員

歯科医師会としても、初めての方と2日目の方では提供する内容も変えていかなければならないと思い、提案させていただいた。

(3) その他

質疑はなかった。

佐藤委員

それでは、以上をもちまして議事が全て終了いたしましたので本日の協議会を終了いたしたいと思います。

皆様の御協力により無事終了することができました。

有り難うございました。これにて議長を解任させていただきます。

閉 会

午後3時30分に閉会を宣言し、平成28年度雄勝地域保健医療福祉協議会は終了した。